

クラブ訪問

「二つの目標のために」

ジュニアファイブ

私たちジュニアファイブは男子22人、女子23人の計45人で活動しているミニバスケットボールチームです。火・水・土・日曜日に玉造・神宮寺・美郷台小学校の体育館で練習しています。

現在、重点を置いて練習しているのは、1対1の強化と相手に抜かれたときのフォロの入り方です。ミニバスケットでは各選手が一人ずつ相手のマークにつくマンツーマンディフェンスが基本とされています。このフォーメーションでは、個人の技術の向上と、仲間が抜かれた際にすぐ別の相手のマークにつくなどの柔軟な対応が求められます。そのため基本的な練習のほかに、さまざま

な状況を想定したディフェンスの反復練習などを行っています。

チームの特長は意識の高さです。過去に先輩たちが関東大会優勝などの輝かしい成績を収めているので、自分たちも関東大会で優勝したいという目標を常を持って練習に取り組んでいます。下級生は監督や上級生から難しい動きを教わるときに、その場でできなかったとしても諦めず、できるようになると練習します。上級生は現状に満足せず、一人一人の得意なプレーをさらに伸ばすために、少しでも悪いところがあれば、すぐに監督にアドバイスをもらうようにしています。

つらい練習もありますが、これからも目標を達成するために頑張っていきます。



勢いよく切り込む



はやと 崎元 颯 部長(6年生)

チームメートにアドバイスを
するからには、自分がしっか
りとしなければと思い、人
一倍練習しています。



大城 えいみ 部長(6年生)

下級生を引っ張っていくた
めにも、練習のときには声出
しなどを率先して行ってい
ます。

なかまと一緒に

206

「駒に懸ける思い」

将棋サークルと金

私たち「将棋サークルと金」は毎週水曜日に橋賀台公民館で将棋を楽しんでいるサークルで、現在は13人で活動しています。平成24年に同公民館で開催された「将棋初級教室」の参加者で結成しました。

主な活動は、先生による講義とメンバー同士の対局。講義はテレビ中継でもおなじみの大盤を使って1時間行われます。あらかじめ宿題と



ほかのサークルのメンバーも参加します

して渡された10問ほどの問題を使い、さまざまな局面を想定しながら、最適な一手を考えるもので、みんなからいろいろな意見が出ます。

講義の後は、対局

を2時間ほど行います。実際に対局を行うことは楽しいですが、それだけではなかなか強くなれません。上達のためには、

対局後に行う感想戦が重要です。対局の内容を振り返り、その

局面では何が最適な一手だったかを互いに検討し合うことで、一局を客観的に見直すことができ、棋力の向上につながります。今まで勝てなかった人に勝つと、上達を実感できてとてもうれしいです。

このサークルは、先生が市内で講師を務めているほかの将棋サークルともつながりがあり、それぞれの活動に参加するほど熱心な人もいます。定期的に合同で親睦会を楽しみむなど、将棋と離れたところでも交流を図っています。

毎年10月に開催される市民文化祭での将棋大会には、サークルとして参加しており、練習の成果を発揮する良い機会となっています。これからも、同じ趣味を持つ仲間たちと切磋琢磨していきたいです。



常に真剣勝負



次の一手はどうする

スクスクのびのび

468



関根 孝洋くん(10カ月)三里塚

半年も経たないうちにハイハイするようになりました。動き回るの大好き!



山田 率人くん(9カ月・左)公津の杜
高柳 匠くん(3歳・右)南羽鳥

いつもべったり、なかよし。元気いっぱい遊んでいます。



福地 涼真くん(9カ月)玉造

パパママばあばと4人で暮らしています。涼真の笑顔が家族の中心です♪

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

○応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度のコメントを郵送またはEメールで広報課へ
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
広報課 ☎20-1503

○応募先

○問い合わせ